



大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和3年3月19日 第19号(19-42)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

3/19(火)卒業式校長式辞（抄録）

『卒業おめでとう！』の話

（前略）さて、卒業式は最後の授業です。最後の授業のテーマは、『なぜ学ぶのか？』 私の好きな映画『男はつらいよ』に、こんな台詞があります。受験勉強に悩む、吉岡秀隆演じる甥っ子が、「なんで勉強しなきゃいけないのかな？」とつぶやきます。名優、渥美清演じるフーテンの寅さんは、こう答えます。「人間長い間生きてりゃ、いろんな事にぶつかるだろ。そんな時、俺みてえに勉強してない奴は、振ったサイコロの出た目で決めるとか、その時の気分で決めるよりしょうがない。ところが、勉強した奴は自分の頭で、きちんと筋道を立てて『はて、こういう時はどうしたらいいかな？』と考えることができるんだ。だからみんな上の学校に行くんじゃないか、そうだろ？」^{がく} 学がなく、フーテンとして過ごしている寅さんだからこそ言える台詞です。『なぜ学ぶのか？』の問いに対する答えの一つは、『正解のない問いに答える力をつけるため』だと、私は思います。中学校は、各教科で正解のある問題に取り組んで、答えを出すトレーニングをする場所と思いがちです。しかし、それだけではありません。各教科で学んだ知識や技能を活用して、横断的な発想で複雑な課題に挑戦する事も学びました。^{クロスオーバー} 更に、対立した人間関係を悩みながら修復する。学校行事や生徒会活動、部活動の取り組みに、達成感や感動を追求する。様々な問題に、仲間と知恵を絞り、絆を深めて来たはずで、こうした全てが大切な学びであり、皆さんが考え行動する力の源となっているのです。



この春、卒業生の皆さんの前には、大宮中学校の狭いエリアから、新たなステージに立ち、その先に社会人としての世界が広がっています。TV番組のクイズには正解がありますが、皆さんのこれからの人生では、正解のない難しい問いにぶつかることばかりでしょう。今、世界中が悩み苦しんでいる、新型コロナとの戦いもその一つです。国内では東京オリパラ、世界中の差別や弾圧、貧困格差問題。個人レベルでは、学生生活、友情、恋愛、結婚、進学、就活、仕事選びも正解のない問いです。卒業生の皆さん、世界に踏み出す覚悟は準備できていますか？

そろそろまとめます。卒業生の皆さんに、最後に問題を出します。RADWINPSの『正解』という楽曲の歌詞を使った超難問です。空欄を埋めてください。

『ああ、答えがある問いばかりを教わってきたよ。けれど明日からは、僕だけの正解をいざ探しに行くんだ。また会う日まで。次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい。卒業式での最後の問い。君のいない明日からの日々を、僕は、私は、きっと、（ 空欄 ）。

（♪）制限時間はあなたのこれからの人生。解答用紙はあなたのこれからの人生。答え合わせの時に私はもういない。だから採点基準はあなたのこれからの人生。よーい、はじめ！（♪）😊

3/2（月）朝礼校長講話

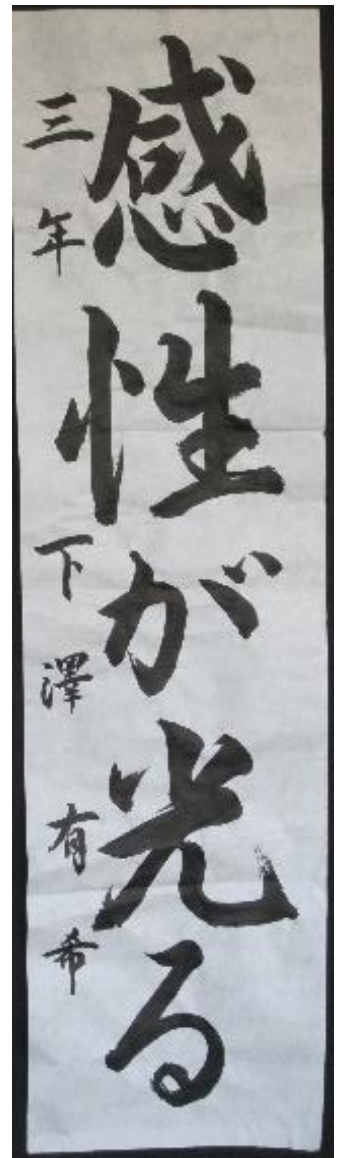
『感性が光る 感性を磨け！』の話

～3/15 学習発表会 応援しています！～

今朝も映像朝礼です。東京都は3月7日に緊急事態宣言が解除されるかどうか。様々な指標の改善具合が滞っています。そんな中ですが、大宮中では教育活動を徐々に正常化するために、部活動を制限付きで解除しました。再び後戻りしないように、新型コロナ対策に対して、気持ちをゆるめず生活しましょう。

さて、3月15日に学習発表会を実施しますね。ひょうたんから駒の期間限定企画です。今年度は、校内の歌唱に大きな制限があり、音楽発表会を行うことができません。代替りの取り組みとして、今年度限定で学習発表会を実施します。内容は、器楽の合奏、箏、ギター等の軽音楽、ボディーパーカッションといった音楽の発表。保健体育のダンス発表。これは、プロのDJの指導を受けた生徒DJと照明付きで、雰囲気盛り上げると聞いています。他にも有志のダンスや軽音部も参加するようです。また、9月から制作してきた、大宮中PVのお披露目も行います。様々な取り組みに、私も今からワクワクしています。練習時間が短く、制限もある中での発表会ですが、密を避け、換気を充分おこないながら、多に楽しみましょう。

こうした行事の取り組みに、大切な視点を考えた時に、ふと職員室の廊下に掲示されている書き初めが目にとまりました。これです。『感性が光る』と書かれています。3年下澤さんの作品です。文字が躍動する、良い書ですね。センスを感じます。今回実施する、学習発表会の内容は、生徒の皆さんの感性を輝かせる場です。教室の授業では体験できない、自分たちの感性を磨く大切な時間です。『知性』は頭で物事を深く考えること。『感性』とは人の直観的な心の動きです。喜怒哀楽を感じる心の動きを身体で表現するということです。音楽やダンスは、この感性が大切です。3月15日当日に、演じる側の感性、それを鑑賞して受け止める感性がパワフルに体育館に充満することを、私は想像しています。今年度は様々な制約を受けた一年間でした。楽しみにしていた合唱の発表もできませんでした。最後に、皆さんの感性が光るパフォーマンスを通して、楽しいひとときにしましょう。出演して演じる皆さん、企画、司会進行の生徒会本部のみなさん、感染対策も含めて、感性が光る準備をお願いします。先生方も応援しています。卒業する三年生の良い思い出にもなりますように！ 😊



3

15 (月)

学習発表会 ～理想の学校にまた一步！～

コロナ禍による緊急事態宣言で、音楽発表会
の中止を判断しました。残念な気持ちで沈んで
いても仕方ありません。すぐに代案として、『学
習発表会』を企画しました。



音楽の授業で歌唱の代わりに 6 月から取り
組んでいた、ハンドクラッピング、箏曲、ギター
といった器楽要素の発表、保健体育の授業で取
り組んできた創作ダンスの発表を行うことにま
とまりました。オーディションも行って、有志



のダンスや軽音楽部の発表が加わりました。そ
れに、完成した大宮中PV（プロモーションビ
デオ）動画のお披露目を行うことにしました。

3 年生の受験や第 4 回定期考査が終わった、
三月から発表用の練習を始めました。生徒は、
日を追うごとに練習に熱が入ります。当日は実
行委員の生徒の司会進行で、各チームの発表を
鑑賞して、ひとときを過ごしました。卒業する
三年生の良い思い出になってくれました。



私は終わりの言葉として、「やるじゃん、大宮
中！」から始めて、「自分が中学生時代に経験し
ていない『ダンス』『箏曲』『ギター』『クラッピ
ング』等で、皆が躍動する姿を見ていて、『37
年間の教員生活で、初めて中学生をやり直した
いと強く思ったよ』。この大宮中でね！」とつな
げ、「音楽発表会はできなかったけれど、今日の
発表を観て、ある意味『コロナに勝ったな』と確
信しました」と伝えました。「大宮、万歳！」



3

15 (月)

伝統芸能体験 落語・紙切り



『大宮寄席』として、落語家の三遊亭鳳志（ほうし）、三遊亭鳳好（ほうらく）、三遊亭絵馬、三氏をお招きして、体育館で高座をお願いして、話芸を披露していただきました。演題は三遊亭鳳好さんの『牛褒め』、二つ目が三遊亭絵馬さんの色物紙切り、そして真打ち三遊亭鳳志師匠の『天使の産声』（防災落語）でした。日本の伝統芸能を堪能しました。



【土曜特別講座】

英語の広場 おっちゅう world

月に1回、土曜日の二時間、二名の講師の先生のもとで、英語学習に取り組んでいます。普段の授業とはひと味違う、会話練習や聴き取り、英検対策を行っています。来年度も継続します。英語好き集まれ！



プログラミング教室



月に2回、土曜日の二時間、プログラミング教室を行いました。小学生も参加して、ミニカーを制御したり、スピーカーを製作して、シンセサイザー音をプログラムしたりして楽しく学習していました。

3

10 (月)

3年生を送る会 (C組)

卒業前に、3年生を送る会を行いました。器楽合奏、歌やダンス、思い出のスライド鑑賞などを通して、1・2年生から卒業する3年生に対して、感謝の気持ちを思い切り伝えていた、素敵な会となりました。



